

会計名		空き缶等ごみ散乱防止事業				担当部	経済環境部		
一般会計						担当課	ごみ減量推進室		
款	項					目	課等長名	芝田 康博	
4	2					1	作成者	黒水 徳生	
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	循環型社会・環境保全						
		施策の内容	ごみ・し尿の適正な処理						
	目的	空き缶等ごみの散乱を防止し、環境の美化を図る。		主たる内容	ごみ散乱防止推進員による地区における啓発指導及び清掃活動の推進				
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令	刈谷市空き缶等ごみ散乱防止条例						
		対象者	市民		事業期間	平成8年度 ~			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 実施	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画	
		ごみ散乱防止推進員を32人委嘱（うち9人が新任） ごみ散乱防止推進員会議・研修会の開催		ごみ散乱防止推進員を32人委嘱（うち20人が新任） ごみ散乱防止推進員会議・研修会の開催		ごみ散乱防止推進員を3人増員し、35人委嘱（うち10人が新任） ごみ散乱防止推進員会議・研修会の開催		ごみ散乱防止推進員を35人委嘱（うち18人が新任） ごみ散乱防止推進員会議・研修会の開催	
成果 (できたこと)		ごみ散乱防止推進員が地域と行政とのパイプ役となりながら、各地区における啓発指導や清掃活動に積極的に取り組み環境美化の推進が図られている。							
課題 (できなかったこと)		啓発看板等の定期点検を実施し、適正に維持管理することが求められる。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				21年度	22年度	23年度	24年度	26年度	
成果指標		ごみ散乱・不法投棄に関する苦情件数（件）			100	123	67	60	50
活動指標									
他市との比較検証		安城市、高浜市などにおいても、ごみ散乱防止や環境美化の推進を役割とした委嘱を行っている。							
C 事業コスト		単位：千円		21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (予算)	23年度 事業費内訳	
	事業費 ①		547	630	377	470	合計	377,475 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	377,475 円	
		一般財源	547	630	377	470			
	職員人件費 ②		0	1,450	1,436	1,498			
	総事業費 (①+②)		547	2,080	1,813	1,968			
	建設事業	全体事業費		0		23年度特定財源名称			
		23年度迄の累積事業費		0					
25年度以降の事業費見込		0							

会計名			不法投棄防止監視カメラ管理事業				担当部	経済環境部	
一般会計							担当課	ごみ減量推進室	
款	項	目					課等長名	芝田 康博	
4	2	1					作成者	黒水 徳生	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	循環型社会・環境保全						
		施策の内容	ごみ・し尿の適正な処理						
	目的	監視カメラを設置し、不法投棄等の抑止を図る。		主たる内容	監視カメラの設置及び維持管理				
	位置づけ	関連計画							
			根拠法令	不法投棄等監視カメラ設置要領					
		対象者	地区	事業期間	平成18年度 ~				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 O 実施 V	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画	
		継続設置	7箇所	継続設置	5箇所	継続設置	5箇所	監視カメラの設置・維持管理	
新規設置		0箇所	新規設置	1箇所	新規設置	6箇所	継続設置 4箇所		
改善撤去		2箇所	改善撤去	1箇所	改善撤去	7箇所			
成果 (できたこと)		不法投棄及びごみ等の排出ルール違反が常態化している場所に、監視カメラを設置し不法投棄等の抑止が図られた。							
課題 (できなかったこと)		地区やごみ散乱防止推進員等との連携を密にし、不法投棄等の防止活動の一層の推進が求められる。							
指標名称(単位)				実績値			目標値		
				21年度	22年度	23年度	24年度	26年度	
成果指標		監視カメラ設置による不法投棄等改善箇所数(箇所)			2	1	7	3	3
活動指標									
他市との比較検証	安城市においても不法投棄監視カメラの貸出設置を行っている。								
C 事業コスト	単位：千円		21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(予算)	23年度事業費内訳		
	事業費 ①		69	197	185	198	合計	185,220 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	87,990 円	
		一般財源	69	197	185	198	役務費	97,230 円	
	職員人件費 ②		0	725	718	749			
	総事業費(①+②)		69	922	903	947			
	建設事業	全体事業費		0		23年度特定財源名称			
23年度迄の累積事業費		0							
25年度以降の事業費見込		0							

会計名			刈谷知立環境組合分担事業				担当部	経済環境部	
一般会計							担当課	ごみ減量推進室	
款	項	目					課等長名	芝田 康博	
4	2	2					作成者	村上 洋一	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	循環型社会・環境保全						
		施策の内容	ごみ・し尿の適正な処理						
	目的	市内で発生したごみを処理する役を担う刈谷知立環境組合を運営することにより、ごみの適正処理を図る。			主たる内容	刈谷知立環境組合の運営に資する事業費を知立市と分担する。			
	位置づけ								
	関連計画								
	根拠法令								
	対象者	刈谷知立環境組合			事業期間	昭和41年度～			
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 実施 V	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画	
分担金（刈谷市） 673,542千円		分担金（刈谷市） 838,964千円		分担金（刈谷市） 956,302千円		分担金（刈谷市） 1,385,096千円			
成果 (できたこと)		分担金を適正に支出した。							
課題 (できなかったこと)									
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				21年度	22年度	23年度	24年度	26年度	
活動指標									
成果指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (予算)	23年度 事業費内訳	
	事業費 ①		673,542	838,964	956,302	1,385,096	合計 956,302,000 円		
	財源	特定財源	0	0	0	118,786	負担金、補助及び 交付金 956,302,000 円		
		一般財源	673,542	838,964	956,302	1,266,310			
	職員人件費 ②		0	362	359	375			
	総事業費 (①+②)		673,542	839,326	956,661	1,385,471			
	建設事業	全体事業費		0		23年度特定財源名称			
23年度迄の累積事業費		0							
25年度以降の事業費見込		0							

会計名			廃棄物システム管理事業				担当部	経済環境部	
一般会計							担当課	ごみ減量推進室	
款	項	目					課等長名	芝田 康博	
4	2	2					作成者	黒水 徳生	
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	循環型社会・環境保全						
		施策の内容	ごみ・し尿の適正な処理						
	目的	ごみステーション等管理システム及びごみ・し尿処理手数料システムを活用し、関係事務を適正かつ効率的に執行する。			主たる内容	システムの保守管理			
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令	刈谷市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例						
		対象者	対象者を限定せず	事業期間	平成19年度～				
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 実施	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画	
		データ更新、システム保守管理		データ更新、システム保守管理		データ更新、システム保守管理		データ更新、システム保守管理	
成果 (できたこと)		システムの導入により、ごみステーションの設置状況や移設経緯などの情報の共有管理及び有効活用が図られているとともに、ごみ・し尿処理手数料の徴収事務を適正かつ円滑に行うことができている。							
課題 (できなかったこと)									
指標名称(単位)				実績値		目標値			
				21年度	22年度	23年度	24年度	26年度	
活動指標									
成果指標									
他市との比較検証		本市独自のシステムを導入している。							
C 事業コスト		単位：千円		21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (予算)	23年度 事業費内訳	
	事業費 ①		2,040	1,995	1,995	1,996	合計	1,995,115 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	114,502 円	
		一般財源	2,040	1,995	1,995	1,996	委託料	1,767,717 円	
	職員人件費 ②		0	1,450	1,436	1,498	使用料及び賃借料	112,896 円	
	総事業費(①+②)		2,040	3,445	3,431	3,494			
	建設事業	全体事業費		0		23年度特定財源名称			
		23年度迄の累積事業費		0					
25年度以降の事業費見込		0							

会計名		自動車購入等事業				担当部	経済環境部		
一般会計						担当課	ごみ減量推進室		
款	項					目	課等長名	芝田 康博	
4	2					2	作成者	村上 洋一	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境			主たる内容	業務の安全性及び円滑化を図るため、ごみ減量推進室が使用している車両を更新する。		
		基本施策	循環型社会・環境保全						
		施策の内容	ごみ・し尿の適正な処理						
	目的	老朽化した公用車を更新する。							
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	市職員	事業期間	~				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画 実施 V	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画	
		塵芥車 2台		実績なし		軽トラック 1台		塵芥車 1台	
成果 (できたこと)		必要車両を購入した。							
課題 (できなかったこと)		購入後10年経過、走行距離10万km以上の車両を順次更新する。							
指標名称(単位)				実績値			目標値		
				21年度	22年度	23年度	24年度	26年度	
活動指標									
成果指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (予算)	23年度 事業費内訳	
	事業費 ①		12,892	0	932	9,047	合計	932,256 円	
	財源	特定財源	1,960	0	0	0	役務費	9,658 円	
		一般財源	10,932	0	932	9,047	備品購入費	922,598 円	
	職員人件費 ②		0	0	359	375			
	総事業費(①+②)		12,892	0	1,291	9,422			
	建設事業	全体事業費		0		23年度特定財源名称			
		23年度迄の累積事業費		0					
25年度以降の事業費見込		0							

会計名			ごみ収集業務事業				担当部	経済環境部			
一般会計							担当課	ごみ減量推進室			
款	項	目					課等長名	芝田 康博			
4	2	2					作成者	黒水 徳生			
PLAN概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境								
		基本施策	循環型社会・環境保全								
		施策の内容	ごみ・し尿の適正な処理								
	目的	可燃ごみ等を分別収集し、ごみの減量やりサイクルの推進を図る。			主たる内容	○ごみの適正な分別排出の周知啓発 ○可燃ごみ、不燃ごみ、空き缶・金属類及びアルミ缶の分別収集					
	位置づけ	関連計画	刈谷市一般廃棄物処理基本計画								
			根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律							
		対象者	市民		事業期間	昭和41年度～					
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	BDO 実績 O 実施 V	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画			
		ごみ分別収集協力報償金を全地区に交付 クリーンカレンダーの作成・全戸配布 <収集量> 可燃ごみ・・・27,280t 不燃ごみ・・・957t 空き缶・金属類・・・315t アルミ缶・・・108t		ごみ分別収集協力報償金を全地区に交付 クリーンカレンダー、ごみの分け方・出し方ガイドブックの作成・全戸配布 <収集量> 可燃ごみ・・・26,613t 不燃ごみ・・・956t 空き缶・金属類・・・305t アルミ缶・・・98t		ごみ分別収集協力報償金を全地区に交付 クリーンカレンダーの作成・全戸配布 <収集量> 可燃ごみ・・・26,685t 不燃ごみ・・・862t 空き缶・金属類・・・275t アルミ缶・・・82t		ごみ分別収集協力報償金を全地区に交付 クリーンカレンダー、ごみの分け方・出し方ガイドブックの作成・全戸配布 <収集頻度> 可燃ごみ・・・週2回 不燃ごみ・・・月1回 空き缶・金属類・・・月2回 アルミ缶・・・月1～2回			
成果 (できたこと)		ごみの発生抑制を推進し、不燃ごみ等の排出量を減少させることができた。									
課題 (できなかったこと)		ごみの発生抑制及び適正な分別排出の一層の促進が求められる。									
指標名称(単位)				実績値			目標値				
				21年度	22年度	23年度	24年度	26年度			
成果 指標		ごみ処理量(t)			51,518	50,551	51,574	51,047	50,519		
成果 指標											
他市との 比較検証		処理しなければならないごみの1人1日当たりの排出量(22年度 871g)は県平均(同年度 765g)を上回っており、一層のごみの発生抑制及び適正な分別排出の促進を図る必要がある。									
C 事業 コスト		単位：千円		21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (予算)	23年度 事業費内訳			
	事業費①		332,274	316,970	320,832	327,159	合計	320,832,344 円			
	財 源	特定財源	4,539	4,527	5,984	5,630	賃金	21,190,923 円			
		一般財源	327,735	312,443	314,848	321,529	報償費	4,509,940 円			
	職員人件費②		0	7,248	7,178	7,492	需用費	14,354,815 円			
	総事業費(①+②)		332,274	324,218	328,010	334,651	役務費	930,464 円			
	建設 事業	全体事業費			0	23年度特定財源名称					
23年度迄の累積事業費			0	ごみ処理手数料 粗大ごみ処理手数料 自動車事故共済保険金収入							
25年度以降の事業費見込			0								

会計名			ガラスビン収集処理事業				担当部	経済環境部	
一般会計							担当課	ごみ減量推進室	
款	項	目					課等長名	芝田 康博	
4	2	2					作成者	黒水 徳生	
PLAN概要	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	循環型社会・環境保全						
		施策の内容	ごみ・し尿の適正な処理						
	目的	空きビン分別収集処理し、ごみの減量やリサイクルの推進を図る。			主たる内容		空きビンの収集運搬及び中間処理		
	位置づけ	関連計画	刈谷市一般廃棄物処理基本計画						
			根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律					
		対象者	市民		事業期間	昭和57年度～			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO実績	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画	
		月2回収集 収集量 839 t (資源回収所直接搬入分含む) 処理量 839 t (資源回収所直接搬入分含む)		月2回収集 収集量 727 t 処理量 828 t (資源回収所直接搬入の101tを含む)		月2回収集 収集量 701 t 処理量 803 t (資源回収所直接搬入の102tを含む)		月2回収集 処理量 790 t	
成果 (できたこと)		ごみの発生抑制を推進し、排出量を減少させることができた。							
課題 (できなかったこと)		地域や集合住宅管理者等と連携を図り、ごみの適正な分別排出の一層の促進が求められる。							
指標名称 (単位)				実績値			目標値		
				21年度	22年度	23年度	24年度	26年度	
活動指標									
成果指標									
他市との比較検証		処理しなければならないごみの1人1日当たりの排出量 (22年度 871g) は県平均 (同年度 765g) を上回っており、一層のごみの発生抑制及び適正な分別排出の促進を図る必要がある。							
Cコスト		単位：千円		21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (予算)	23年度 事業費内訳	
	事業費 ①		38,395	37,703	37,357	37,887	合計	37,357,499 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	37,357,499 円	
		一般財源	38,395	37,703	37,357	37,887			
	職員人件費 ②		0	1,450	1,436	1,498			
	総事業費 (①+②)		38,395	39,153	38,793	39,385			
	建設事業	全体事業費		0		23年度特定財源名称			
		23年度迄の累積事業費		0					
25年度以降の事業費見込		0							



会計名			ペットボトル収集処理事業				担当部	経済環境部		
一般会計							担当課	ごみ減量推進室		
款	項	目					課等長名	芝田 康博		
4	2	2					作成者	黒水 徳生		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境							
		基本施策	循環型社会・環境保全							
		施策の内容	ごみ・し尿の適正な処理							
	目的	ペットボトルを分別収集処理し、ごみの減量やリサイクルの推進を図る。		主たる内容	ペットボトルの収集運搬及び中間処理					
	位置づけ	関連計画	刈谷市一般廃棄物処理基本計画							
			根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律						
		対象者	市民		事業期間	平成9年度 ~				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 実施 V	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画		
		月2回収集 収集量 301 t 処理量 330t (資源回収所・クリーンセンター直接搬入の29tを含む)		月2回収集 収集量 303 t 処理量 335t (資源回収所・クリーンセンター直接搬入の22tを含む)		月2回収集 収集量 267 t 処理量 300t (資源回収所・クリーンセンター直接搬入の33tを含む)		月2回収集 処理量 280 t		
成果 (できたこと)		ごみの発生抑制を推進し、排出量を減少させることができた。								
課題 (できなかったこと)		地域や集合住宅管理者等と連携を図り、ごみの適正な分別排出の一層の促進が求められる。								
指標名称 (単位)				実績値			目標値			
				21年度	22年度	23年度	24年度	26年度		
活動指標										
成果指標										
他市との比較検証		処理しなければならないごみの1人1日当たりの排出量 (22年度 871g) は県平均 (同年度 765g) を上回っており、一層のごみの発生抑制及び適正な分別排出の促進を図る必要がある。								
C 事業コスト		単位：千円		21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (予算)	23年度 事業費内訳		
	事業費 ①		24,431	27,352	27,245	29,332	合計	27,244,860 円		
	財源	特定財源	0	227	20,614	7,231	委託料	27,244,860 円		
		一般財源	24,431	27,125	6,631	22,101				
	職員人件費 ②		0	1,450	1,436	1,498				
	総事業費 (①+②)		24,431	28,802	28,681	30,830				
	建設事業	全体事業費		0		23年度特定財源名称				
		23年度迄の累積事業費		0		資源売却収入				
25年度以降の事業費見込		0								



会計名			プラスチック製容器包装収集処理事業				担当部	経済環境部	
一般会計							担当課	ごみ減量推進室	
款	項	目					課等長名	芝田 康博	
4	2	2					作成者	黒水 徳生	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	循環型社会・環境保全						
		施策の内容	ごみ・し尿の適正な処理						
	目的	プラスチック製容器包装を分別収集処理しごみの減量やリサイクルの推進を図る。			主たる内容	プラスチック製容器包装の収集運搬及び中間処理			
	位置づけ	関連計画	刈谷市一般廃棄物処理基本計画						
		根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律						
		対象者	市民		事業期間	平成13年度 ~			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 実施 V	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画	
		週1回収集 収集量 1,218 t 処理量 1,230t (資源回収所直接搬入の12tを含む)		週1回収集 収集量 1,164 t 処理量 1,176t (資源回収所直接搬入の12tを含む)		週1回収集 収集量 1,112 t 処理量 1,125t (資源回収所直接搬入の13tを含む)		週1回収集 処理量 1,080 t	
成果 (できたこと)		ごみの発生抑制を推進し、排出量を減少させることができた。							
課題 (できなかったこと)		地域や集合住宅管理者等と連携を図り、ごみの適正な分別排出の一層の促進が求められる。							
指標名称 (単位)				実績値		目標値			
				21年度	22年度	23年度	24年度	26年度	
活動指標									
成果指標									
他市との比較検証		処理しなければならないごみの1人1日当たりの排出量 (22年度 871g) は県平均 (同年度 765g) を上回っており、一層のごみの発生抑制及び適正な分別排出の促進を図る必要がある。							
C 事業コスト		単位：千円		21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (予算)	23年度 事業費内訳	
	事業費 ①		42,952	63,734	61,048	62,408	合計	61,048,403 円	
	財源	特定財源	0	17,125	36,489	23,898	委託料	61,048,403 円	
		一般財源	42,952	46,609	24,559	38,510			
	職員人件費 ②		0	1,450	1,436	1,498			
	総事業費 (①+②)		42,952	65,184	62,484	63,906			
	建設事業	全体事業費		0		23年度特定財源名称			
		23年度迄の累積事業費		0		資源売却収入			
25年度以降の事業費見込		0							

会計名			紙類回収事業				担当部	経済環境部		
一般会計							担当課	ごみ減量推進室		
款	項	目					課等長名	芝田 康博		
4	2	2					作成者	黒水 徳生		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境							
		基本施策	循環型社会・環境保全							
		施策の内容	ごみ・し尿の適正な処理							
	目的	可燃ごみの減量及びリサイクルの推進を図る。			主たる内容	不燃（資源）ごみステーションにおける紙類（新聞・雑誌・段ボール）の分別収集				
	位置づけ	関連計画	刈谷市一般廃棄物処理基本計画							
			根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律						
		対象者	市民		事業期間	平成21年度～				
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画 実施 V	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画		
		5月から市内全域での収集開始 収集量 886t		ごみの分け方・出し方ガイドブックの作成・全戸配布による周知啓発 収集量 905t		クリーンカレンダー、市民だより及びホームページ等による周知啓発 収集量 858 t		クリーンカレンダー、ごみの分け方・出し方ガイドブックの作成・全戸配布等による周知啓発 収集量 900t		
成果 (できたこと)		拠点回収（6か所、月1回）からステーション収集（約1,800か所、月2回）に切り替え、排出の利便性を高め、可燃ごみに混入されていた紙類の分別排出を促進することができた。								
課題 (できなかったこと)		紙製容器包装としての誤排出、可燃ごみとしての排出を減少させるため、継続的に周知啓発を進め、資源物の分別排出の徹底を図ることが求められる。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				21年度	22年度	23年度	24年度	26年度		
活動指標										
成果指標										
他市との比較検証		安城市では、本市と同様に紙類のステーション収集（約2,300か所）を実施している。碧南市・高浜市では、拠点回収（約100～120か所）であり、知立市では、市による収集は行っていない。								
C 事業コスト		単位：千円		21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (予算)	23年度 事業費内訳		
	事業費 ①		3,848	4,160	4,160	4,202	合計		4,160,100 円	
	財源	特定財源	3,848	4,160	4,160	4,202	委託料		4,160,100 円	
		一般財源	0	0	0	0				
	職員人件費 ②		0	1,450	1,436	1,498				
	総事業費 (①+②)		3,848	5,610	5,596	5,700				
	建設事業	全体事業費		0		23年度特定財源名称				
		23年度迄の累積事業費		0		資源売却収入				
25年度以降の事業費見込		0								

会計名			<b>粗大ごみ戸別収集業務事業</b>	担当部	経済環境部
一般会計				担当課	ごみ減量推進室
款	項	目		課等長名	芝田 康博
4	2	2		作成者	黒水 徳生

PLAN概要 位置づけ	総合計画 施策体系	分野	都市環境			
		基本施策	循環型社会・環境保全			
		施策の内容	ごみ・し尿の適正な処理			
	目的	粗大ごみを処理場へ直接搬入できない市民に対し、有料で戸別収集を行い、ごみの減量・適正排出及びリサイクルの推進を図る。	主たる内容	粗大ごみの戸別有料収集		
	関連計画	刈谷市一般廃棄物処理基本計画				
	根拠法令	刈谷市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例				
	対象者	市民	事業期間	平成3年度 ~		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他				

		21年度実績	22年度実績	23年度実績	24年度計画	
B D O 実績	週1回収集	週1回収集	週1回収集	週1回収集	週1回収集	
	収集個数	2,344個	2,293個	2,322個	収集量 50t	
	収集量	52t	56t	55t		
	成果 (できたこと)	ごみの発生抑制を推進し、排出量を減少させることができた。 戸別収集の受付を専用電話により、土・日曜日でも行うとともに、粗大ごみ処理券をコンビニエンスストア等で販売し、市民の利便性の向上が図られた。				
課題 (できなかったこと)	リサイクルショップやフリーマーケットの活用などの啓発に努め、不用品の再使用の促進が求められる。					
指標名称(単位)		実績値			目標値	
		21年度	22年度	23年度	24年度	26年度
活動指標						
成果指標						
他市との比較検証	処理しなければならないごみの1人1日当たりの排出量(22年度 871g)は県平均(同年度 765g)を上回っており、一層のごみの発生抑制及び適正な分別排出の促進を図る必要がある。					

単位：千円		21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (予算)	23年度 事業費内訳	
C 事業 コスト	事業費 ①	3,019	2,474	1,943	1,857	合計 1,943,166 円	
	財源	特定財源	3,019	2,474	1,943	1,857	需用費 157,500 円
		一般財源	0	0	0	0	役務費 180,000 円
	職員人件費 ②	0	1,450	1,436	1,498	委託料 1,605,666 円	
総事業費(①+②)		3,019	3,924	3,379	3,355		
建設 事業	全体事業費		0	23年度特定財源名称			
	23年度迄の累積事業費		0	粗大ごみ処理手数料			
	25年度以降の事業費見込		0				

会計名			不燃物埋立場資源回収指導事業				担当部	経済環境部	
一般会計							担当課	ごみ減量推進室	
款	項	目					課等長名	芝田 康博	
4	2	2					作成者	村上 洋一	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	循環型社会・環境保全						
		施策の内容	ごみ・し尿の適正な処理						
	目的	資源の回収拠点を北部地区に常設することにより、自己搬入の利便性を図る。	主たる内容	不燃物埋立場で回収する資源の分別を指導する。					
	位置づけ	関連計画		刈谷市一般廃棄物処理基本計画					
			根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律					
		対象者	市民	事業期間	平成13年度 ~				
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	D 実績 O 実施 V	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画	
		資源回収所回収量 705t		資源回収所回収量 770t		資源回収所回収量 810t		資源回収所回収量 850t	
成果 (できたこと)		再利用可能な資源を回収し市民のリサイクル意識や自己搬入の利便性を高めた。							
課題 (できなかったこと)		適正な分別指導の促進を更に図る。							
指標名称(単位)			実績値			目標値			
成果 指標		資源回収所回収量(t)	705	770	810	850	900		
他市との 比較検証	近隣市(安城市、知立市など)においても、資源ごみの拠点回収を行っている。								
C 事業 コスト	単位:千円		21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (予算)	23年度 事業費内訳		
	事業費 ①		8,610	8,056	8,901	8,242	合計	8,901,167 円	
	財 源	特定財源	8,610	8,056	8,901	8,242	需用費	184,800 円	
		一般財源	0	0	0	0	委託料	8,716,367 円	
	職員人件費 ②		0	725	718	749			
	総事業費(①+②)		8,610	8,781	9,619	8,991			
	建設 事業	全体事業費		0		23年度特定財源名称			
23年度迄の累積事業費		0		資源売却収入					
25年度以降の事業費見込		0							

会計名			紙製容器包装収集処理事業	担当部	経済環境部
一般会計				担当課	ごみ減量推進室
款	項	目		課等長名	芝田 康博
4	2	2		作成者	黒水 徳生

PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	都市環境			
		基本施策	循環型社会・環境保全			
		施策の内容	ごみ・し尿の適正な処理			
	目的	紙製容器包装を分別収集処理し、ごみの減量やリサイクルの推進を図る。		主たる内容	紙製容器包装の収集運搬及び中間処理	
	位置づけ	関連計画	刈谷市一般廃棄物処理基本計画			
			根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律		
		対象者	市民	事業期間	平成16年度～	
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他				

		21年度実績	22年度実績	23年度実績	24年度計画			
B 事業実績	月2回収集	月2回収集	月2回収集	月2回収集	月2回収集			
	収集量	369 t	355 t	328 t	処理量 300 t			
	処理量	381t (資源回収所直接搬入の12tを含む)	346t (資源回収所直接搬入の12tを含み、誤排出の紙類21tを除く)	328t (資源回収所直接搬入の12tを含み、誤排出の紙類12tを除く)				
	成果 (できたこと)	ごみの発生抑制を推進し、排出量を減少させることができた。						
課題 (できなかったこと)	地域や集合住宅管理者等と連携を図り、ごみの適正な分別排出の一層の促進が求められる。							
O 実施	指標名称 (単位)			実績値		目標値		
				21年度	22年度	23年度	24年度	26年度
	活動指標							
	成果指標							
他市との比較検証	処理しなければならないごみの1人1日当たりの排出量 (22年度 871g) は県平均 (同年度 765g) を上回っており、一層のごみの発生抑制及び適正な分別排出の促進を図る必要がある。							

単位：千円		21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (予算)	23年度 事業費内訳		
C 事業コスト	事業費 ①	8,315	7,963	7,643	8,155	合計	7,642,635 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	7,642,635 円
		一般財源	8,315	7,963	7,643	8,155		
	職員人件費 ②	0	1,450	1,436	1,498			
総事業費 (①+②)		8,315	9,413	9,079	9,653			
建設事業	全体事業費		0	23年度特定財源名称				
	23年度迄の累積事業費		0					
	25年度以降の事業費見込		0					

会計名			犬猫等死体回収業務委託事業				担当部	経済環境部	
一般会計							担当課	ごみ減量推進室	
款	項	目					課等長名	芝田 康博	
4	2	2					作成者	黒水 徳生	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	循環型社会・環境保全						
		施策の内容	ごみ・し尿の適正な処理						
	目的	道路等の公共用地における小動物の死体回収を迅速かつ効率的に行い、公衆衛生の保持及び環境の美化を図る。			主たる内容	小動物の死体回収業務委託			
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律						
		対象者	市民		事業期間	平成19年度 ~			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画 実施 V	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画	
		回収件数 510件 うち土・日曜日、祝日及び年末年始の回収件数 93件		回収件数 555件 うち土・日曜日、祝日及び年末年始の回収件数 100件		回収件数 513件 うち土・日曜日、祝日及び年末年始の回収件数 82件		回収件数 500件	
成果 (できたこと)		市役所閉庁日である土・日曜日、祝日等にも回収を行い、迅速な対応が図られている。							
課題 (できなかったこと)		回収においては特にはないが、野良猫等の発生抑制が求められる。							
指標名称(単位)				実績値		目標値			
				21年度	22年度	23年度	24年度	26年度	
活動指標									
成果指標									
他市との比較検証		安城市、知立市などにおいても、同様の回収業務を業者委託している。							
C 事業コスト		単位：千円		21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (予算)	23年度 事業費内訳	
	事業費 ①		2,276	2,482	2,273	2,545	合計	2,273,040 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	2,273,040 円	
		一般財源	2,276	2,482	2,273	2,545			
	職員人件費 ②		0	1,450	1,436	1,498			
	総事業費(①+②)		2,276	3,932	3,709	4,043			
	建設事業	全体事業費		0		23年度特定財源名称			
23年度迄の累積事業費		0							
25年度以降の事業費見込		0							

会計名			ごみ指定袋購入事業				担当部	経済環境部			
一般会計							担当課	ごみ減量推進室			
款	項	目					課等長名	芝田 康博			
4	2	2	作成者	黒水 徳生							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境								
		基本施策	循環型社会・環境保全								
		施策の内容	ごみ・し尿の適正な処理								
	目的	可燃ごみ等の指定袋を作製し、ごみの減量・分別排出及びリサイクルの推進を図る。				主たる内容	可燃ごみ、プラスチック製容器包装及び紙製容器包装の指定袋を作製				
	位置づけ	関連計画	刈谷市一般廃棄物処理基本計画								
			根拠法令	刈谷市可燃ごみ等指定袋制度要領							
		対象者	市民			事業期間	平成11年度～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	BDO 事業実績 実施 V	21年度実績		22年度実績			23年度実績			24年度計画	
		<作製数>		<作製数>			<作製数>			<作製数>	
可燃(大) 8,541,500枚		可燃(大) 6,654,500枚			可燃(大) 5,050,000枚			可燃(大) 4,762,000枚			
可燃(小) 1,590,000枚		可燃(小) 1,620,000枚			可燃(小) 690,000枚			可燃(小) 1,027,000枚			
プラ(大) 1,680,000枚		プラ(大) 1,530,000枚			プラ(大) 730,000枚			可燃(極小) 232,000枚			
プラ(小) 340,000枚		プラ(小) 385,000枚			プラ(小) 110,000枚			プラ(大) 1,203,000枚			
紙製(大) 250,000枚		紙製(大) 220,000枚			紙製(大) 25,000枚			プラ(小) 176,000枚			
合計 12,401,500枚		合計 10,479,500枚			合計 6,630,000枚			紙製(大) 105,000枚			
								紙製(小) 29,000枚			
								合計 7,534,000枚			
成果(できたこと)	ごみの発生抑制及び分別排出の促進による排出量の減少により、指定袋の作製数を削減させることができた。										
課題(できなかったこと)	一層の指定袋の円滑な流通と適正な在庫管理が求められる。										
指標名称(単位)					実績値			目標値			
					21年度	22年度	23年度	24年度	26年度		
活動指標											
成果指標											
他市との比較検証	処理しなければならないごみの1人1日当たりの排出量(22年度 871g)は県平均(同年度 765g)を上回っており、一層のごみの発生抑制及び適正な分別排出の促進を図る必要がある。										
C 事業コスト	単位：千円		21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(予算)	23年度事業費内訳				
	事業費①		88,379	53,280	36,943	55,299	合計 36,942,685 円				
	財源	特定財源	79,354	53,280	36,943	55,269	需用費 36,902,985 円				
		一般財源	9,025	0	0	30	役務費 29,200 円				
	職員人件費②		0	1,450	1,436	1,498	使用料及び賃借料 10,500 円				
	総事業費(①+②)		88,379	54,730	38,379	56,797					
	建設事業	全体事業費			0	23年度特定財源名称					
		23年度迄の累積事業費			0	可燃ごみ指定袋売払収入					
25年度以降の事業費見込			0								



会計名			有害ごみ処理事業				担当部	経済環境部			
一般会計							担当課	ごみ減量推進室			
款	項	目					課等長名	芝田 康博			
4	2	2					作成者	村上 洋一			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境								
		基本施策	循環型社会・環境保全								
		施策の内容	ごみ・し尿の適正な処理								
	目的	水銀等有害物質を含む廃棄物を適正に処理し、良好な環境の保全を図る。			主たる内容	水銀を含む有害ごみ（使用済み乾電池、蛍光管）を適正に処理し、資源化する。					
	位置づけ	関連計画	刈谷市一般廃棄物処理基本計画								
			根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律							
		対象者	市民		事業期間	昭和59年度 ~					
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	BDO 事業実績 実施 V	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画			
		使用済み乾電池	37t	使用済み乾電池	39t	使用済み乾電池	41t	使用済み乾電池	43t		
使用済み蛍光管		22t	使用済み蛍光管	16t	使用済み蛍光管	16t	使用済み蛍光管	16t			
成果 (できたこと)		水銀を含む有害な廃棄物を適正に処理し、環境に悪影響を及ぼさないようにした。									
課題 (できなかったこと)											
指標名称（単位）				実績値			目標値				
				21年度	22年度	23年度	24年度	26年度			
活動指標											
活動指標											
他市との比較検証		近隣市（安城市、知立市など）においても同様の有害ごみの収集を行っている。									
C 事業コスト	単位：千円		21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (予算)	23年度 事業費内訳				
	事業費 ①		9,691	9,042	8,838	9,450	合計	8,838,117 円			
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	97,020 円			
		一般財源	9,691	9,042	8,838	9,450	委託料 負担金、補助及び 交付金	8,626,917 円 114,180 円			
	職員人件費 ②		0	725	718	749					
	総事業費 (①+②)		9,691	9,767	9,556	10,199					
	建設事業	全体事業費		0		23年度特定財源名称					
		23年度迄の累積事業費		0							
25年度以降の事業費見込		0									

会計名			<b>廃棄物処理事業</b>				担当部	経済環境部	
一般会計							担当課	ごみ減量推進室	
款	項	目					課等長名	芝田 康博	
4	2	2					作成者	村上 洋一	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	循環型社会・環境保全						
		施策の内容	ごみ・し尿の適正な処理						
	目的	不法投棄等で回収した廃棄物の処分			主たる内容	不法投棄に係るパソコン、タイヤ等の処理			
	位置づけ	関連計画	刈谷市一般廃棄物処理基本計画						
		根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律						
	対象者	市民			事業期間	～			
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 O 実施 V	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画	
タイヤ		2.98t	タイヤ	1.50t	タイヤ	1.64t	タイヤ	1.50t	
消火器		50本	消火器	0本	消火器	0本	消火器	35本	
パソコン		1.00t	パソコン	0.81t	パソコン	0.82t	パソコン	0.85t	
成果 (できたこと)		適正に処理を行った。							
課題 (できなかったこと)									
指標名称(単位)				実績値			目標値		
				21年度	22年度	23年度	24年度	26年度	
活動指標									
成果指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト	単位：千円		21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (予算)	23年度 事業費内訳		
	事業費 ①		7,957	8,396	9,287	2,046	合計	9,286,968 円	
	財源	特定財源	7,957	8,396	0	0	需用費	94,500 円	
		一般財源	0	0	9,287	2,046	役務費	476,313 円	
	職員人件費 ②		0	725	718	749	委託料	8,716,155 円	
	総事業費(①+②)		7,957	9,121	10,005	2,795			
	建設事業	全体事業費		0		23年度特定財源名称			
23年度迄の累積事業費		0							
25年度以降の事業費見込		0							

会計名			施設管理事業				担当部	経済環境部			
一般会計							担当課	ごみ減量推進室			
款	項	目					課等長名	芝田 康博			
4	2	2					作成者	村上 洋一			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境								
		基本施策	循環型社会・環境保全								
		施策の内容	ごみ・し尿の適正な処理								
	目的	不燃物埋立場の業務管理を適正に行い、埋立場の延命化を図る。			主たる内容	浸出液処理施設を始めとする不燃物埋立場の施設全般の運転維持管理及び随時の覆土による埋立整備					
	位置づけ	関連計画	刈谷市一般廃棄物処理基本計画								
			根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律							
		対象者	対象者を限定せず			事業期間	昭和47年度 ~				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	BDO 事業実績 実施 V	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画			
		不燃ごみ（埋立処理分） 1,279t		不燃ごみ（埋立処理分） 1,015t		不燃ごみ（埋立処理分） 1,645t		不燃ごみ（埋立処理分） 1,500t			
成果 (できたこと)		第1不燃物埋立場については平成24年度中の廃止に向け、水質検査等を実施した。ごみ分別の徹底を図り、第2不燃物埋立場の延命に努めた。									
課題 (できなかったこと)		第2不燃物埋立場の能力を維持するため、適正に管理し更なる延命に努めていく。									
指標名称（単位）				実績値			目標値				
				21年度	22年度	23年度	24年度	26年度			
活動 指標											
成果 指標											
他市との 比較検証		近隣市（安城市、知立市など）においても同様の一般廃棄物最終処分場を整備している。									
C 事業 コスト		単位：千円		21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (予算)	23年度 事業費内訳			
	事業費 ①		28,891	29,637	28,948	30,366	合計	28,948,207 円			
	財 源	特定財源	116	126	103	190	需用費	13,228,934 円			
		一般財源	28,775	29,511	28,845	30,176	役務費	715,763 円			
	職員人件費 ②		0	1,450	1,436	1,498	委託料	14,748,510 円			
	総事業費 (①+②)		28,891	31,087	30,384	31,864	原材料費	105,000 円			
	建設 事業	全体事業費		0		23年度特定財源名称					
23年度迄の累積事業費		0		ごみ埋立処分手数料							
25年度以降の事業費見込		0									

会計名		施設補修事業				担当部	経済環境部		
一般会計						担当課	ごみ減量推進室		
款	項					目	課等長名	芝田 康博	
4	2					2	作成者	村上 洋一	
PLAN概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	循環型社会・環境保全						
		施策の内容	ごみ・し尿の適正な処理						
	目的	放流水の水質確保に欠かせない不燃物埋立場浸出液処理施設の計画的な修繕を実施し、機器及び設備修繕により施設の処理能力を維持する。			主たる内容	第1及び第2不燃物埋立場浸出液処理施設の各種ポンプ等、設備の取替え及び修繕			
	位置づけ	関連計画	刈谷市一般廃棄物処理基本計画						
		根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律						
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	昭和48年度～			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO実績 実施V	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画	
		活性炭吸着塔点検修繕 有機汚濁モニター点検修繕 砂ろ過塔逆洗フロア修繕		散気管点検修繕 井戸ポンプ出口配管修繕 水槽及び内部装置修繕		原水ポンプ取替修繕 生物汚泥引抜きポンプ修繕 砂ろ過塔配管修繕 汚泥貯留槽清掃修繕		活性炭吸着塔点検修繕 凝集沈殿槽レーキ修繕 汚泥脱水機整備修繕 調整槽清掃、散気管取替修繕	
成果 (できたこと)		不燃物埋立場浸出液処理施設の計画的な修繕を実施し、機器及び設備修繕により施設の処理能力の維持に努めた。							
課題 (できなかったこと)		施設の老朽化に伴い修繕箇所、修繕の頻度ともに増加傾向にあるが、第1不燃物埋立場は平成24年度中に廃止される予定なので、それに伴って修繕費が削減される見込みである。							
指標名称(単位)				実績値			目標値		
				21年度	22年度	23年度	24年度	26年度	
活動 指標									
成果 指標									
他市との 比較検証									
C事業 コスト		単位：千円		21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (予算)	23年度 事業費内訳	
	事業費 ①		5,727	11,913	9,349	15,000	合計	9,349,305 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	9,349,305 円	
		一般財源	5,727	11,913	9,349	15,000			
	職員人件費 ②		0	725	718	749			
	総事業費(①+②)		5,727	12,638	10,067	15,749			
	建設 事業	全体事業費		0		23年度特定財源名称			
23年度迄の累積事業費		0							
25年度以降の事業費見込		0							

会計名			埋立ごみ分別事業				担当部	経済環境部		
一般会計							担当課	ごみ減量推進室		
款	項	目					課等長名	芝田 康博		
4	2	2					作成者	村上 洋一		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境							
		基本施策	循環型社会・環境保全							
		施策の内容	ごみ・し尿の適正な処理							
	目的	埋立場へ搬入される一般家庭から出る不燃ごみを場内で適正に分別して、埋立ごみを減量し、埋立場の延命を図る。			主たる内容	各家庭から収集した不燃ごみを埋立場で手選別した後、金属等リサイクルするものと可燃ごみ、硬質プラスチック及び埋立ごみに分別し、適正に処理する。				
	位置づけ	関連計画	刈谷市一般廃棄物処理基本計画							
		根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律							
		対象者	市民		事業期間	平成17年度～				
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 O 実施 V	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画		
		埋立ごみ	324 t	埋立ごみ	322 t	埋立ごみ	319 t	埋立ごみ	315 t	
空き缶・金属類		145 t	空き缶・金属類	144 t	空き缶・金属類	145 t	空き缶・金属類	145 t		
破碎対象物		91 t	破碎対象物	86 t	破碎対象物	81 t	破碎対象物	75 t		
可燃物		180 t	可燃物	169 t	可燃物	161 t	可燃物	150 t		
硬質プラスチック		175 t	硬質プラスチック	185 t	硬質プラスチック	190 t	硬質プラスチック	195 t		
合計		915 t	合計	906 t	合計	896 t	合計	880 t		
成果 (できたこと)		埋立ごみの削減と適正な分別を実施し、埋立場の延命に寄与した。								
課題 (できなかったこと)		埋立ごみをさらに減らすための分別方法の検討								
成果指標		指標名称(単位)				実績値			目標値	
					21年度	22年度	23年度	24年度	26年度	
	不燃ごみ分別量 (埋立ごみ以外のもの) (t)					591	584	577	565	540
他市との比較検証	本事業は刈谷市独自の事業である。									
C 事業コスト	単位：千円		21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (予算)	23年度 事業費内訳			
	事業費 ①		29,332	29,332	29,332	30,671	合計	29,331,750 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	29,331,750 円		
		一般財源	29,332	29,332	29,332	30,671				
	職員人件費 ②		0	725	718	749				
	総事業費(①+②)		29,332	30,057	30,050	31,420				
	建設事業	全体事業費		0		23年度特定財源名称				
23年度迄の累積事業費		0								
25年度以降の事業費見込		0								

会計名			事業系一般廃棄物減量事業				担当部	経済環境部		
一般会計							担当課	ごみ減量推進室		
款	項	目					課等長名	芝田 康博		
4	2	2					作成者	黒水 徳生		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境							
		基本施策	循環型社会・環境保全							
		施策の内容	ごみの減量化							
	目的	事業系ごみの減量やリサイクルの推進を図る。			主たる内容	事業系ごみの適正処理の周知啓発				
	位置づけ	関連計画	刈谷市一般廃棄物処理基本計画							
		根拠法令								
		対象者	事業者		事業期間	平成22年度 ~ 平成23年度				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画		
				事業系ごみ実態調査 ・アンケート 2,000事業所 ・ヒアリング 13事業所  調査結果報告書、取組事例パンフレットの作成・配布		事業系ごみの減量とリサイクルの手引きの作成・配布				
成果 (できたこと)		事業系ごみの実態調査を実施し、ごみの減量やリサイクルの取組事例を紹介するとともに手引きを発行し、周知啓発を図った。								
課題 (できなかったこと)		一層の事業系ごみの発生抑制の促進及び資源分別の徹底が求められる。								
指標名称(単位)			実績値			目標値				
			21年度	22年度	23年度	24年度	26年度			
成果指標	事業系ごみ処理量 (t)		14,713	14,736	14,939	14,790	14,642			
活動指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト	単位：千円		21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (予算)	23年度 事業費内訳			
	事業費 ①		0	4,673	1,076	0	合計 1,075,648 円			
	財源	特定財源	0	4,673	0	0	需用費 328,948 円			
		一般財源	0	0	1,076	0	役務費 690,000 円			
	職員人件費 ②		0	2,175	2,154	0	委託料 56,700 円			
	総事業費(①+②)		0	6,848	3,230	0				
	建設事業	全体事業費		0		23年度特定財源名称				
23年度迄の累積事業費		0								
25年度以降の事業費見込		0								

会計名		リサイクルプラザ運営事業				担当部	経済環境部		
一般会計						担当課	ごみ減量推進室		
款	項					目	課等長名	芝田 康博	
4	2					2	作成者	村上 洋一	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	循環型社会・環境保全						
		施策の内容	ごみの減量化						
	目的	ごみの減量及びリサイクルの推進並びにリサイクル意識の啓蒙。		主たる内容	かりや消費者生活学校のリサイクルプラザ・マザーズ工房の運営に対し補助金を交付。				
	位置づけ								
	関連計画								
	根拠法令								
	対象者	かりや消費者生活学校		事業期間	平成10年度～				
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 O 実施 V	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画	
リサイクルショップ		リサイクルショップ		リサイクルショップ		リサイクルショップ			
入場者数		15,956人	入場者数	14,624人	入場者数	13,183人	入場者数	14,000人	
出品点数		40,423点	出品点数	41,042点	出品点数	41,547点	出品点数	41,547点	
販売点数		22,595点	販売点数	21,907点	販売点数	21,968点	販売点数	21,968点	
販売金額		4,706,890円	販売金額	4,230,250円	販売金額	4,001,320円	販売金額	4,001,320円	
マザーズ工房		マザーズ工房		マザーズ工房		マザーズ工房			
布類回収量		690kg	布類回収量	799kg	布類回収量	726kg	布類回収量	726kg	
傘修理数		140本	傘修理数	339本	傘修理数	216本	傘修理数	216本	
売上金額		147,337円	売上金額	309,638円	売上金額	333,018円	売上金額	333,018円	
補助金額	2,233,906円	補助金額	2,239,803円	補助金額	2,239,368円	補助金額	2,245,700円		
成果(できたこと)	かりや消費者生活学校と協働しリサイクルショップやマザーズ工房を通して、ごみの減量化、リサイクルの促進ができた。								
課題(できなかったこと)	効果的な広報の仕方を検討								
指標名称(単位)			実績値			目標値			
			21年度	22年度	23年度	24年度	26年度		
成果指標	リサイクルショップ入場者数(人)		15,956	14,624	13,183	14,000	15,000		
成果指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト	単位：千円		21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(予算)	23年度事業費内訳		
	事業費①		6,665	3,082	2,997	2,982	合計	2,996,666円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	93,856円	
		一般財源	6,665	3,082	2,997	2,982	役務費	61,762円	
	職員人件費②		0	0	718	749	委託料	474,000円	
	総事業費(①+②)		6,665	3,082	3,715	3,731	使用料及び賃借料	127,680円	
	建設事業	全体事業費		0		23年度特定財源名称			
		23年度迄の累積事業費		0					
25年度以降の事業費見込		0							



会計名			一般廃棄物処理施設等整備基金積立事業				担当部	経済環境部	
一般会計							担当課	ごみ減量推進室	
款	項	目					課等長名	芝田 康博	
4	2	2					作成者	村上 洋一	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	循環型社会・環境保全						
		施策の内容	ごみの減量化						
	目的	刈谷知立環境組合の旧ごみ焼却施設の解体などのための基金利子を積み立てる。			主たる内容	施設解体などのための基金(利子分)を積み立てる。			
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	対象者を限定せず			事業期間	~		
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 O 実施 V	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画	
		平成21年度末積立額 10,478,578円		平成22年度末積立額 210,835,578円		平成23年度末積立額 11,003,578円		平成23年度末積立額 2,281,224円	
成果 (できたこと)		計画的な積み立てができた。							
課題 (できなかったこと)									
指標名称(単位)				実績値			目標値		
				21年度	22年度	23年度	24年度	26年度	
活動 指標									
成果 指標									
他市との 比較検証									
C 事業 コスト		単位：千円		21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (予算)	23年度 事業費内訳	
	事業費 ①		1,009	357	168	64	合計	168,000 円	
	財 源	特定財源	1,009	357	168	64	積立金	168,000 円	
		一般財源	0	0	0	0			
	職員人件費 ②		0	0	0	0			
	総事業費(①+②)		1,009	357	168	64			
	建設 事業	全体事業費		0		23年度特定財源名称			
23年度迄の累積事業費		0		一般廃棄物処理施設等整備基金積立金利子					
25年度以降の事業費見込		0							

会計名			施設管理事業				担当部	経済環境部	
一般会計							担当課	ごみ減量推進室	
款	項	目					課等長名	芝田 康博	
4	2	3					作成者	村上 洋一	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	循環型社会・環境保全						
		施策の内容	ごみ・し尿の適正な処理						
	目的	環境センターの業務管理を適正に行い、し尿及び浄化槽汚泥処理の効率化を図る。			主たる内容	環境センターの管理業務の充実及び効率化			
	位置づけ	関連計画	刈谷市一般廃棄物処理基本計画						
			根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律					
			対象者	対象者を限定せず		事業期間	平成16年度 ~		
			実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他					
	BDO 事業実績 実施 V	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画	
		し尿	2,016kl	し尿	1,761kl	し尿	1,640kl	し尿	1,500kl
浄化槽汚泥		27,405kl	浄化槽汚泥	25,359kl	浄化槽汚泥	23,678kl	浄化槽汚泥	22,000kl	
成果 (できたこと)		下水道投入水の希釈倍率を5倍から4倍に下げ、下水道使用量を削減した。							
課題 (できなかったこと)		今後、更なる希釈倍率の低下を図り、下水道使用料の縮減に努めていく。環境センターの省エネ診断結果を今後のセンターの省エネ管理に生かしていく。							
指標名称(単位)				実績値		目標値			
				21年度	22年度	23年度	24年度	26年度	
活動指標									
成果指標									
他市との比較検証		近隣市(安城市、知立市など)においても市単独または一部事務組合にて同様のし尿処理場を整備している。							
C 事業コスト	単位:千円		21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (予算)	23年度 事業費内訳		
	事業費 ①		218,065	203,287	209,194	190,012	合計	209,194,444 円	
	財源	特定財源	18,050	16,920	15,878	13,709	需用費	21,626,899 円	
		一般財源	200,015	186,367	193,316	176,303	役務費	96,690 円	
	職員人件費 ②		0	725	718	749	委託料	180,483,884 円	
	総事業費(①+②)		218,065	204,012	209,912	190,761	使用料及び賃借料	6,986,971 円	
	建設事業	全体事業費		0		23年度特定財源名称			
		23年度迄の累積事業費		0		し尿処理手数料			
25年度以降の事業費見込		0							

会計名			し尿収集処理事業				担当部	経済環境部	
一般会計							担当課	ごみ減量推進室	
款	項	目					課等長名	芝田 康博	
4	2	3					作成者	村上 洋一	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	循環型社会・環境保全						
		施策の内容	ごみ・し尿の適正な処理						
	目的	くみ取り対象世帯からのし尿収集業務を行い、公衆衛生の向上を図る。			主たる内容	くみ取り対象世帯からし尿を収集し、適切に処理する。			
	位置づけ	関連計画	刈谷市一般廃棄物処理基本計画						
			根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律					
		対象者	市民		事業期間	昭和28年度～			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 O 実施 V	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画	
		し尿くみ取り量 2,016kl		し尿くみ取り量 1,761kl		し尿くみ取り量 1,640kl		し尿くみ取り量 1,500kl	
成果 (できたこと)		くみ取り対象世帯からし尿を適切に収集した。							
課題 (できなかったこと)		し尿等の処理量は年々減少しており、今後、収集体系の見直しが必要である。							
指標名称(単位)				実績値			目標値		
				21年度	22年度	23年度	24年度	26年度	
活動 指標									
成果 指標									
他市との 比較検証		近隣市(安城市、知立市など)においても同様の事業を行っている。							
C 事業 コスト		単位:千円		21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (予算)	23年度 事業費内訳	
	事業費①		43,677	43,179	42,603	42,360	合計	42,602,981円	
	財 源	特定財源	0	0	0	0	委託料	42,602,981円	
		一般財源	43,677	43,179	42,603	42,360			
	職員人件費②		0	725	718	749			
	総事業費(①+②)		43,677	43,904	43,321	43,109			
	建設 事業	全体事業費		0		23年度特定財源名称			
		23年度迄の累積事業費		0					
25年度以降の事業費見込		0							

会計名		施設管理事業				担当部	経済環境部		
一般会計						担当課	ごみ減量推進室		
款	項					目	課等長名	芝田 康博	
4	2					4	作成者	村上 洋一	
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	循環型社会・環境保全						
		施策の内容	ごみ・し尿の適正な処理						
	目的	清掃センターの施設管理の効率化を図る。			主たる内容	清掃センターの施設管理の効率化、高度化			
	位置づけ	関連計画	刈谷市一般廃棄物処理基本計画						
		根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律						
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	昭和51年度 ~			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画V	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画	
消防設備保守管理委託 樹木管理委託 建物清掃委託 空調設備保守管理委託 ダクト用換気扇取替修繕		消防設備保守管理委託 樹木管理委託 建物清掃委託 空調設備保守管理委託 自動扉修繕		消防設備保守管理委託 樹木管理委託 建物清掃委託 空調設備保守管理委託 空調設備修繕		消防設備保守管理委託 樹木管理委託 建物清掃委託 空調設備保守管理委託			
成果 (できたこと)		施設の効率的な管理に努め、管理費の縮減に努めた。							
課題 (できなかったこと)		施設管理の更なる効率化に努める必要がある。							
指標名称 (単位)				実績値		目標値			
				21年度	22年度	23年度	24年度	26年度	
活動 指標									
成果 指標									
他市との 比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (予算)	23年度 事業費内訳	
	事業費 ①		5,046	4,567	4,467	5,579	合計	4,467,317 円	
	財源	特定財源	16	17	12	22	需用費	1,918,469 円	
		一般財源	5,030	4,550	4,455	5,557	役務費	386,221 円	
	職員人件費 ②		0	725	718	749	委託料	2,162,627 円	
	総事業費 (①+②)		5,046	5,292	5,185	6,328			
	建設 事業	全体事業費		0		23年度特定財源名称			
		23年度迄の累積事業費		0		行政財産目的外使用料			
25年度以降の事業費見込		0							